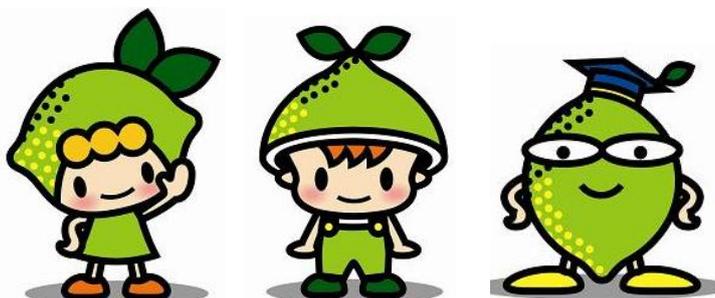




●図書館のマスコットキャラクター

愛称募集

図書館のマスコットキャラクターができました。
 LibraryMessenger = LiMe(ライム)がモチーフです。



この3人の名前を募集します。詳細は、図書館入口の掲示をご覧ください。

◆Contents◆

<トピックス>

マスコットキャラクター

4月スタートあれこれ

1月~3月のベストリーダー

データベース「聞蔵IIビジュアル」

<お薦め図書>

「一人で始める短歌入門」

<コンテンツとは?>

<職員の異動>

<1月~3月のベストリーダー>

- ⑫ 自家採種ハンドブック / ファントン
- ⑨ くまちゃん / 角田光代
- ⑦ ポイントがわかる分子生物学 / 松橋通生 [ほか]
- ⑦ 地球のしくみ / 新星出版社編集部
- ⑦ ころころ / 畠中恵
- ⑦ まほろ駅前番外地 / 三浦しをん
- ⑥ セラミックス材料科学 / 水田進, 河本邦仁
- ⑥ X線構造解析 / 早稲田嘉夫 [ほか]
- ⑥ 植物の生化学・分子生物学 / Buchanan [ほか]
- ⑥ ゲノム / T.A. Brown
- ⑥ 聖女の救済 / 東野圭吾

※頭の数字は貸出回数

●4月スタートあれこれ

新学期が始まりました。図書館の中にもいろいろ新しくなったものがあります。気付いてくれたかな?

入館ゲート



■ICカード対応になりました。

自動貸出機



カードをかざせばOK

■貸出冊数(試行)

- ・学部生 10冊まで
- ・院生・教職員 15冊まで

■ドリンク・携帯エリア(試行)

1階新聞コーナーでは、携帯電話とくふたつき飲料に限りOKとします。いずれも他の利用者の迷惑にならないようにしましょう。



●朝日新聞データベース

「聞蔵(きくぞう)IIビジュアル」

4月から、こんなに多彩なコンテンツが利用できます。

- 朝日新聞記事 1985年~
- 朝日新聞縮刷版 1945年~
- 週刊朝日 2000年~
- AERA(アエラ) 創刊号(1988)~
- 知恵蔵(ちえぞう) 最新版
- 朝日新聞人物データベース
- 朝日新聞歴史写真アーカイブ

<お薦め図書>

『一人で始める短歌入門』 杵野浩一著

新入生や、この春から一人暮らしを始めるみなさんが会える特別なものがあります。例えば、大学生活最初の講義が始まる瞬間だったり、挨拶のために押す隣の部屋のドアベルだったり、自炊のためにスーパーに行ってはみたものの途方に暮れてしまったり、静かにならないように観もしないテレビをつけっ放しにしてしまうことなど。

そんなときどきや不安やさびしさも、島大メインストリートの木々の緑が眩しくなる頃には、ちょっぴりの自信に代わってどこかに消えてしまうのでしょうか。

新生活をテーマにした本書には、“短歌にまったく興味がない人たちが読んでも面白い短歌”が詰まっています。中学高校の授業で絞り出すような苦痛を味わいトラウマのようになっている人（私自身ですが☆）にとっても、今の自分を詠ったような一首に親しみを感じるはずです。「一人で始める」というのは自力で作らなさいということではなく、ひとりになった時だからこそ楽しんでという意味の1冊だと思います。(F)

「トーストが焦げずに焼ける日が増えて いい部屋になりいい街になる」

(神奈川県 山口抹茶)

【911.16/MA68 初年次教育コーナー】



コンテンツとは？

最近、<デジタル・コンテンツ><コンテンツ・ビジネス>など“**コンテンツ**”という言葉が新聞、放送等でよく使われています。Wikipediaによれば、「コンテンツとは、あるものの〔内容〕(≒情報そのもの)のこと」「映像・静止画・音声・文字などの情報やデータの総称」として用いられているようです。

大学図書館が扱うのは“**学術コンテンツ**”。IT技術の進歩とインターネットの普及により、図書や雑誌などがデータベース、電子ジャーナルや電子ブックなどのデジタル・コンテンツとなったものです。タイトル、著者名、キーワード(メタデータ)などで検索し、全文を利用することができます。

一方で、図書など印刷媒体の資料も依然として重要な位置を占め、それぞれの内容、使い方に応じた棲み分けが行われています。全国の大学や研究機関にある膨大な図書資料も、**OPAC**や**Google**などを通じて公開が進み、利活用が進んでいます。

印刷媒体とデジタル媒体、それぞれの特性を生かした図書館サービスを“**電子図書館**”あるいは“**ハイブリッド・ライブラリー**”と呼んでいます。私たちの図書館でも、それぞれを最適なメディアで収集提供し、重要な地域資料については電子化を進め、**デジタルアーカイブ**として蓄積、提供しています。

これからは、従来の図書館利用法に加え、このような電子資料を活用するための能力(学術情報リテラシー)も必要になってきます。島根大学では、テキスト「学術情報リテラシー：情報活用能力の向上のために」を作成し配布していますので、利用してください。

国立情報学研究所の**学術機関リポジトリ**ポータル**JAIRO**では、雑誌、紀要論文フルテキストなどを中心に、約87万件の学術コンテンツの無償提供を進めています。島根大学も平成18年から、約5,000件の論文等を**SWAN**から提供しています。

一度、この“無料の学術コンテンツ”を覗いてみませんか。探していた論文を無料で手に入れられたり、課題のヒントとなる情報に出会えるかもしれません。

JAIROは**Google**や**PORTA**(国立国会図書館)等からも利用できます。

SWAN(スワン) → <http://www.lib.shimane-u.ac.jp/0/collection/repo/>

JAIRO(ジャイロ) → <http://jairo.nii.ac.jp/> (KAMO)



なんだか難しそう。図書館って、本を借りて読むところじゃないの？



レポートや論文を書くとき、今までは図書や雑誌で文献を探したけど、最近はインターネットで探そうと思えたよ。でも、本当に必要な情報って、なかなか見つからないんだよね。



雑誌は<電子ジャーナル>、図書は<電子ブック>、普段は見れない貴重な資料も撮影して<デジタルアーカイブ>に。図書館では、いろんな分野の学術情報を集めて、それを使いやすいように分類整理してホームページから提供してるんだ。

知っているのと、とっても便利だよ。これから一緒に少しずつ勉強していこう。



<職員の異動>

ピカピカの新人、錦織亜希子さんがカウンターデビューします。どうぞよろしくお祈りします。